

夢をつかみに

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

2025年が皆さまにとって素晴らしい年になりますよう心から願っております。

1月は、成人式や大学入試など節目を迎える若者たちも多く、会場に向かう様子を見ると思わず心の中でエールを送ってしまいます。実際に学生の方や新入社員と話してみると、私の頃とは比べられないほど、自分が実現したいことや、やりたい姿をしっかりと持っている方ばかりで、それに向けて努力を惜しまない姿に毎回感心させられています。

そんな若者たちに、JALグループならではの応援ができないだろうか、昨年『DREAM MILES PASS』を始動しました。このプロジェクトのシンボルである大谷翔平選手が、高校球児からMLBのトップ選手になるまでの総移動距離89万2440km分の移動を、夢に挑戦する若者たち「Dreamer」に航空券として還元するというものです。同時に、日本中の大人たちも「Supporter」として参画いただくことができます。このプロジェクトについて、当社のアスリート社員でパ



リオリンピック金メダリストの北口榛花（やり投）や加納虹輝（フェンシング・エペ）と話すことができました。彼らは自分たちの体験を振り返り、「本物を生で見ることが、競い合える相手がいることが大事。移動を伴う挑戦は大変だけど、行ってみないとつかめないものがある」と語っていたのが非常に印象的でした。自分を成長させられる場へ移動し、そこで出会う人、五感を使って出会えた世界

は、勇気を持って飛び出した者だけが味わうことができるのかもしれませんが、プロジェクトにはさまざま「Dream」が寄せられています。そんな一歩を踏み出す方々の翼でありたいと、心新たにした次第です。

JALグループも、時にDreamer、また時にSupporterとして、お客さまに新しい価値や感動をお届けしてまいります。そして何より、安全に対する使命と責任を胸に刻み、一便一便運航してまいります。本年のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐布子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部長、2020年に執行役員 客室本部長、2022年に常務執行役員 客室本部長、2023年に専務執行役員 カスタマー・エクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員グループCOOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。



たびとりどり

代表取締役社長グループCEO

鳥取三津子